

無くならない。減らしたい。  
第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画  
【概要版】

～ともに取り組み、実現する。環境負荷の少ない「循環型のまち・堺」～



**第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画とは**

事業活動や市民生活の全般を通じて資源を循環的に利用することにより、限りある天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り抑制された社会——そんな「循環型のまち・堺」の形成を図り、将来世代に良好な環境を引き継ぐため、一般廃棄物（ごみ）の減量化・リサイクルや適正処理に関する基本的な方向性を定めた計画です。

今回の計画期間は、平成 28(2016)年度から平成 37(2025)年度までです。

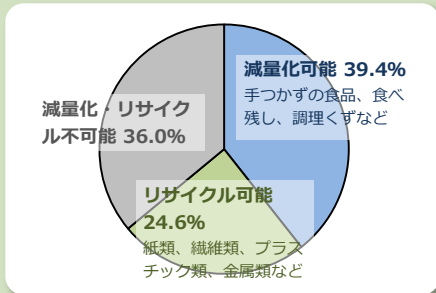
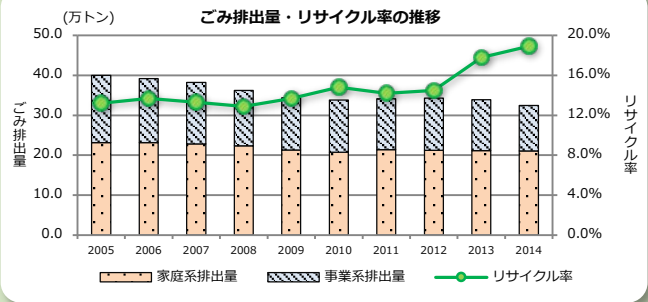
平成 28(2016)年 3 月



## ■ ごみ減量化・リサイクルの状況

「4R」を基本とした取組の結果、ごみ排出量は継続的に減少してきましたが、近年横ばい傾向となっています。また、リサイクル率は継続的に向上していますが、分別収集品目の収集量や集団回収量については減少傾向となっています。

今後とも、ごみの減量化に向けて、更なる取組の推進が必要です。



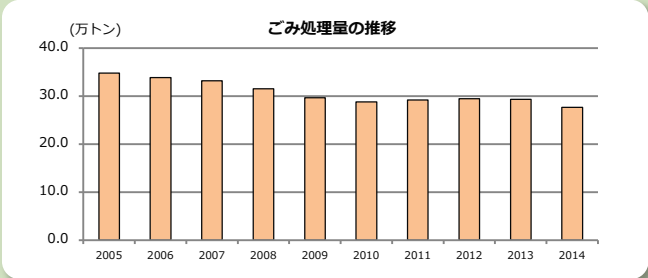
生活ごみの中には、手つかずの食品や食べ残し、調理くずなど減量化が可能な物や、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙類などリサイクル可能なものが多く含まれており、更なる減量化・リサイクルの可能性ががあります。



《生活ごみ中の手つかずの食品》

## ■ ごみ処理の状況

ごみの処理量（清掃工場搬入量）は、ごみの減量化・リサイクルの進展により着実に減少しています。しかし、稼働開始から38年が経過（2015.4.1現在）しており老朽化が著しい東工場第一工場が稼働停止した場合、現在のごみ量では処理しきれなくなる可能性があります。

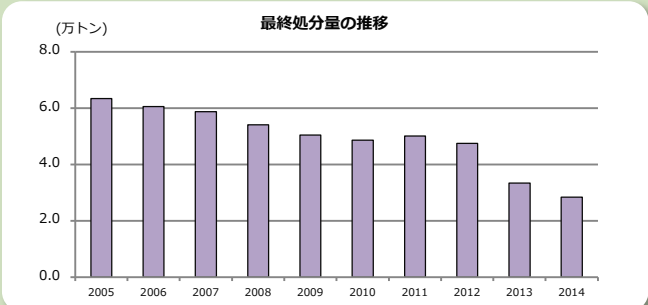


また、東日本大震災以降、大規模災害への備えの重要性が高まる中、現在稼働中の清掃工場は、大規模災害時の「人命の安全確保」は図られています、「機能確保」は十分ではない状況です。

## ■ 最終（埋立）処分の状況

最終処分量は、ごみの減量化・リサイクルの進展により着実に減少しています。

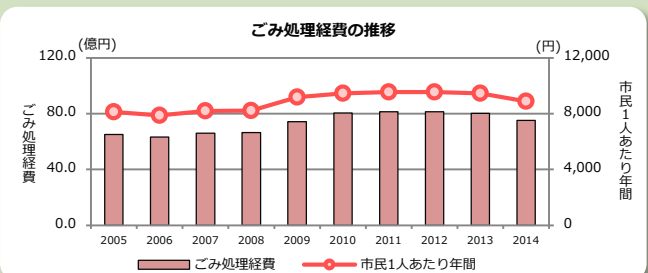
堺市では、最終処分を全て大阪湾フェニックスに委託していますが、現在の埋立処分場の受入計画期間は2027年度までとなっていることから、埋立処分場の延命化に向けて、今後とも最終処分量の低減を図る必要があります。



## ■ ごみ処理経費

ごみ処理経費は、分別収集品目を拡大した2009年度以降大きく増加した後、横ばい傾向にありましたが、2013年度から減少に転じています。

ごみの適正処理や減量化・リサイクルを推進するにあたっては、今後とも、費用対効果に留意し、効率的なごみ処理体制の構築を図ることが必要です。



# 2

## これまでの取組と効果

堺市では、これまで、「4 R」の考え方を基本として、市民・事業者の皆様のご協力のもと、「ごみの4 R 運動」の推進や分別収集品目の拡大など、様々なごみの減量化・リサイクルの取組を進めてきました。

2008年度	・中区でペットボトルの分別収集を開始
2009年度	・分別収集品目を7品目6分別に拡大 (ペットボトル、プラスチック製容器包装及び小型金属を追加) ・事業系一般廃棄物収集運搬業許可制度の開始
2011年度	・事業系一般廃棄物減量等計画書の提出対象を拡大 ・廃棄物管理責任者の設置を義務化
2013年度	・清掃工場搬入時のごみ袋の透明化を実施 ・臨海工場の稼働(溶融スラグ・メタルのリサイクル開始) ・東工場第二工場の基幹改良工事が完了
2014年度	・堺市エコショップ制度を開始 ・併せ産廃(紙くず・木くず・繊維くずのうち産業廃棄物に該当するもの)の清掃工場への搬入を禁止
2015年度	・使用済小型家電のボックス回収を開始(実証事業)

これらの取組の結果、次のような「イイコト」がありました。

お財布に  
イイコト

市民1人あたりのごみ処理費用を削減できました。

市民1人あたり  
のごみ処理費用

2010年度  
(分別収集拡大直後)

9,458 円

2014年度 8,878 円

地球環境に  
イイコト

最終処分量の減少により、最終処分場の延命化につながっています。

最終処分量

2005年度

6.3 万トン

2014年度 2.8 万トン

安全・安心に  
イイコト

著しく老朽化している東工場第一工場の負担を減らし、より安全・安心に、安定的な処理を行うことができます。



### 「ごみの4 R運動」って？

「ごみの4 R運動」とは、次の4つの言葉の頭文字をとった運動で、その優先順位として、①~③を優先して推進し、④は最後の手段とすることとしています。

#### ① Refuse (リフューズ)

…発生源でごみを断つ

- ・過剰包装を断る
- ・買わない、もらわない
- ・マイバッグを持参し、レジ袋を断る



#### ② Reduce (リデュース)

…ごみとなるものを減量する

- ・詰め替え用のものを選ぶ
- ・バラ売りや量り売りのものを選ぶ
- ・生ごみの水を切る



#### ③ Reuse (リユース)

…くり返し使う

- ・リターナブル容器に入った製品を選ぶ
- ・壊れても修理して使う
- ・必要としている人にゆずる



#### ④ Recycle (リサイクル)

…再資源化する

- ・正しく分別してリサイクルへ
- ・集団回収に積極的に参加
- ・リサイクルに積極的な店舗を利用



## 基本理念

## ともに取り組み、実現する。環境負荷の少ない「循環型のまち・堺」



ごみを排出する主体であり、減量化・リサイクルの実践者である市民・事業者、ごみの減量化等に取り組む市民団体、ごみとなるものを生産・販売する事業者、ごみの処理やリサイクルを行う事業者、ごみ処理事業を運営する行政等、様々な立場がともにごみの減量化・リサイクルを進めることで、「循環型のまち・堺」の実現を図ります。

## 基本方針

## ① 4Rのさらなる推進

発生源でごみを断つこと（Refuse：リフューズ）、ごみとなるものを減量すること（Reduce：リデュース）に重点を置くとともに、ごみになったものについては、くり返し使うこと（Reuse：リユース）、再資源化すること（Recycle：リサイクル）の順に循環的な利用を徹底することにより、ごみの更なる減量化・リサイクルを進めます。

## ② ごみに関わる多様な主体の連携・協働

ごみ減量化・リサイクルの実践者である市民・事業者や、ごみの減量等に取り組む市民団体、ごみとなるものを生産・販売する事業者、ごみの処理やリサイクルを行う事業者、ごみ処理事業を運営する行政等、ごみに関わる多様な主体による連携・協働を進めます。

## ③ 環境に配慮した安全・安心で安定的な処理体制の構築

ごみ処理について統括的な責任を有する行政として、平常時における法令等に基づいた適正な処理体制の確保はもとより、大規模災害時におけるがれき等災害廃棄物の迅速かつ適切な処理も見据えて、環境に配慮した安全・安心で安定的な処理体制の構築を図ります。

## 計画目標（抜粋）

## ▶ 1人1日あたり家庭系ごみ排出量



## ▶ リサイクル率



## ▶ 清掃工場搬入量



## ▶ 最終処分量





# 計画の体系

## 基本理念

ともに取り組み、実現する。環境負荷の少ない「循環型のまち・堺」

## 基本方針

1

4Rのさらなる推進

2

ごみに関わる  
多様な主体の  
連携・協働

3

環境に配慮した  
安全・安心で安定的な  
処理体制の構築

## 基本施策

家庭ごみ有料化の導入を図ります

ごみの減量化・リサイクルの取組を集中的に進めます

環境教育・啓発活動をより一層強化・推進します

さらなるごみ減量化等に向けた施策の検討を進めます

ごみに関する情報を積極的に発信します

市民・事業者による自主的な行動の促進を図ります

適正なごみの収集運搬体制の構築を図ります

ごみの適正排出を確保します

安全・安心で安定的なごみ処理体制を構築します

安定的・継続的な最終処分体制の確立を図ります

ごみの処理・処分に伴う環境負荷の低減を進めます

ごみの処理・処分にに関する調査・研究を進めます



## 主な施策

家庭ごみ有料化の導入

家庭系生ごみの減量 / 家庭系古紙類の回収強化 / 事業系古紙のリサイクル体制の構築 / 使用済小型家電の最適な回収・リサイクル体制の確立 / 未分別ごみに対する指導の強化 / レジ袋削減の推進 など

「ごみの4R運動」を基本とした啓発活動の推進 / 環境教育の推進 / 特に若年層に対する啓発の強化

リサイクル可能な事業系古紙の清掃工場搬入禁止の検討 / 未分別ごみ排出者に対する罰則等の検討 / メタン発酵施設等の導入検討

家庭系ごみに関する情報発信の強化 / 事業系ごみに関する情報発信の強化 / 特に若年層に対する啓発の強化(再掲)

資源物集団回収の更なる促進 / ごみ減量化推進員制度の活性化 / リターナブルびんの利用促進 / 事業用大規模建築物におけるごみ減量の促進 / 事業系食品廃棄物の減量・リサイクル推進 / エコショップ制度の推進 など

より適切な家庭系ごみ分別・収集運搬制度への見直し / 適切な事業系ごみの収集運搬体制の構築 / 清掃工場への直接搬入制度の見直し / 水銀使用製品の適正な回収 など

家庭系ごみの排出方法の周知徹底 / 未分別ごみに対する指導の強化(再掲) / 事業系ごみの適正排出の推進 / 高齢者等の社会的弱者への対応 など

ごみ処理施設整備の推進 / ごみ処理施設の長寿命化の推進 / 災害に強い処理体制の構築 など

ごみ減量化・リサイクルの推進による最終処分量の削減 / 長期的視点にたった安定的・継続的な最終処分体制の確立 など

焼却施設の適正な運転管理 / 南部処理場の適正な維持管理 / 廃棄物発電等の熱エネルギーの有効利用の促進

中間処理に係る調査・研究の推進 / 最終処分量のさらなる削減に向けた調査・研究の推進



基本理念の実現のためには、ごみ減量化・リサイクルの実践者にとってより良いサービスを提供していくこと、少ない費用で高い効果をあげるとともに、歳入確保にも努めていくことが必要です。

これらを踏まえ、施策内容の検討にあたっては、次の視点に立つことを基本とします。

## 施策検討にあたっての基本視点：費用対効果と市民サービスの向上

### 家庭ごみ有料化の導入

- ◎ 有料化の制度設計、価格設定、減免制度のあり方、手数料収入の用途等について早急に検討を進めます。
- ◎ 市民理解を深めたうえで、できる限り早期の導入を図ります。
- ◎ あらゆる機会・手段等を活用した積極的でおわかりやすい情報発信に努めます。

### 家庭系生ごみの減量

- ◎ 軽易かつ低廉な生ごみの減量方法である「生きごみさん」に継続的に取り組めます。
- ◎ ホームページや広報さかい、イベントにおけるパネル展示等、多様な手法を用いた生ごみの水切りや食残し削減運動など、より実効性のある対策の実施を図ります。

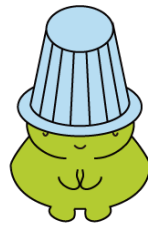
### 家庭系古紙類の回収強化

- ◎ 家庭ごみ有料化導入と併せて、全市的な古紙類（雑がみ含む）の分別排出・リサイクル体制の整備を図ります。



### 事業系古紙のリサイクル

- ◎ 事業系古紙回収協力店制度の導入など、事業系古紙のリサイクルルート構築及び当該ルートへの誘導を図ります。



ご理解・ご協力  
よろしくお願ひします

### 特に若年層に対する啓発

- ◎ SNSの活用や、ごみ分別等に関するスマートフォンアプリの導入、各種教育機関と連携した周知・啓発を図るなど、特に若年層に対する情報発信・啓発を強化します。



### ごみ処理施設整備の推進

- ◎ ごみ処理能力の継続的な確保に向けて、ごみ処理施設の更新・整備を推進します。
- ◎ 特に、著しく老朽化が進んでいる東工場については、早急に対応を進めることとします。

### 資源物集団回収の更なる促進

- ◎ 未実施地域の解消に向けた取組や、対象品目の追加（雑がみ）を実施し、更なる促進を図ります。



### 災害に強い処理体制の構築

- ◎ 老朽化が進んだ施設について、耐震化・浸水対策等を考慮して更新・改良を行い、施設の強靱化を図ります。
- ◎ 大規模災害時のがれき等災害廃棄物の迅速かつ適正な収集・処理体制の構築に向けて、災害廃棄物処理計画を策定します。

# 5

## 計画の推進

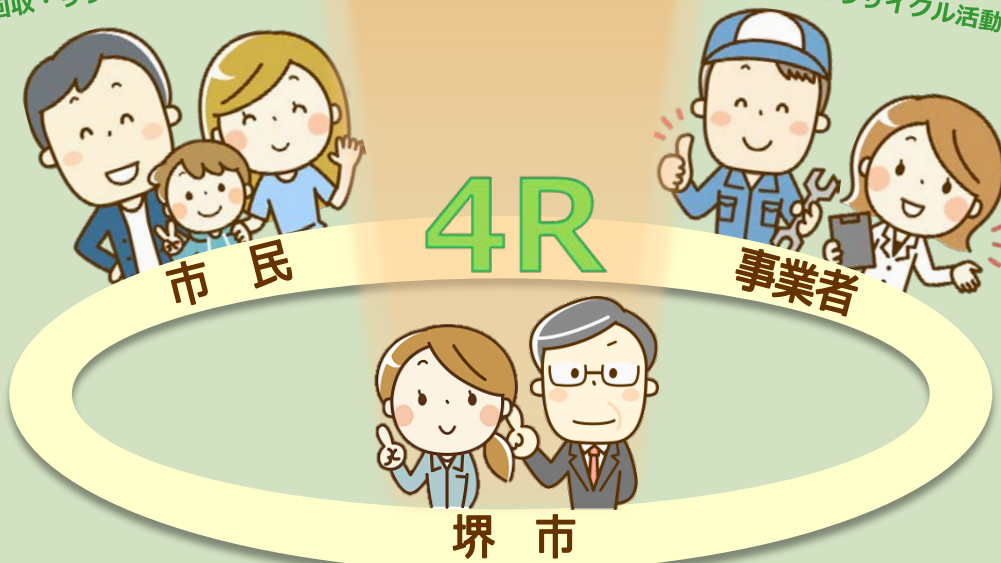
### 役割分担

基本理念の実現のためには、ごみに関わる多様な主体がそれぞれの立場に応じた適正な役割分担のもとに、自主的に連携・協働することが必要不可欠です。



- 学習会や出前講座に参加
- 「ごみの4R運動」を実践
- 「グリーン購入」の心掛け
- 分別収集・拠点回収に協力
- 集団回収・リサイクル活動に参加

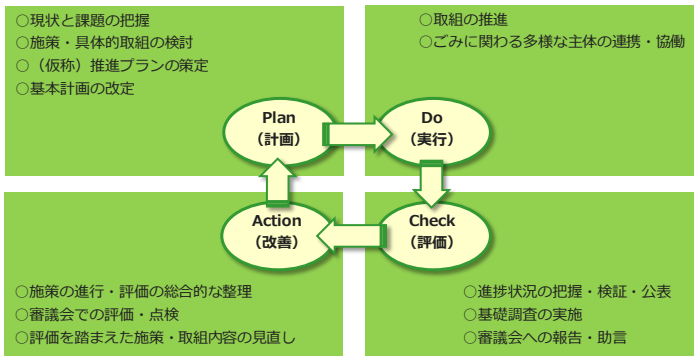
- ごみの少ない商品を開発・製造
- 販売段階での容器包装の削減
- 社員の意識啓発の強化
- 事業所内での資源分別
- 自主的なリサイクル活動の推進



- 幅広い主体と連携・協働
- 教育・学習の場を提供
- 情報を積極的に発信
- 各主体の自主的な活動を支援
- 施策形成に関わる場づくり

### 進行管理

計画に基づく施策・事業を効率的・効果的に推進していくため、計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Action)からなるPDCAマネジメントサイクルによる進行管理を行います。



#### 【推進プランの策定 (Plan)】

- ・当初5年間で取り組む主なものについて、「(仮称)第3次堺市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画推進プラン」を作成します。

#### 【施策の実行 (Do)】

- ・ごみに関する多様な主体の連携・協働により、ごみの減量化・リサイクル及び適正処理を進めるための取組を推進します。

#### 【進行管理・評価・公表 (Check)】

- ・毎年、推進プランに基づき進捗状況を把握し、達成状況の評価・検証を行い、結果を公表します。
- ・進捗状況を検証するため、ごみ組成や排出状況等の基礎調査を実施します。

#### 【改善 (Action)】

- ・中間目標年度である2020年度に、施策の進行や評価を総合的に整理し、必要な改定を行います。

## それ、ホントに ごみですか？

あなたが要らないと思った「モノ」。  
それ、ほんとうに、「ごみ」ですか？  
お隣りさんが前から欲しかったものかも。  
お金を出してでも買いたい人がいるかも。  
「リメイクしてインテリアに♪」なんてのも素敵です。  
『要らない』≠『捨てる』  
捨てる前に、もう一度だけ、  
考えてみてください。

## ごみ減量、もう限界？

「生ごみの水切り、詰め替え品を選ぶ、レジ袋を断る、  
そんなことは分かってるし、いつもやってるよ。」  
と思ったあなた。  
安心して下さい、まだ減らせませよ。  
例えば、家庭以外のごみにも思いをはせて…  
外食で、苦手な食材を「抜いてください。」  
食べきれないと思ったら「ごはん少なめで。」  
さあ、恥ずかしがらず、勇気を出して。  
もしかしたら、体脂肪も減るかもしれません。



ごみは決して無くなりません。だけど減らすことはできます。未来のため、次世代のため、ごみと向き合ってみませんか？



## 「もったいない」は カッコいい？

実はこの言葉、外国語に訳せない、  
日本語だけの単語なんです。  
ケニア出身の環境保護活動家で、環境分野で初めて  
ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんは、  
日本語の「もったいない」に感銘を受け、  
その意思と概念を世界共通語「MOTTAINAI」として  
世界に広めようとしてきました。  
「もったいない」には、かけがえのない地球資源に対する  
尊敬 (Respect) の意味が込められており、  
外国語では一語で表現できないんだとか。  
『日本にしかない、独自の文化』  
まさに、クールジャパンの先駆けです。

## 「未来」って いつからだろう？

「地球温暖化により、陸地が水没した世界…」  
「地球がごみであふれ、人が住めなくなった世界…」  
そんな未来の世界を描いた映画、観たことありませんか？  
でも、「だから地球の環境を守ろう」  
と言われても、なかなかピンとこない方も多はず。  
ひとつ考えてみて欲しいのは、  
「未来っていつからだろう？」  
ということ。  
もしかしたら、私たちは今すでに、  
映画の世界の入口に立っているのかもしれない。  
未来を考えることは、今を考えること。  
そろそろ、本気を出してもいいと思います。

計画の本編は、堺市ホームページでご覧になれます。

([http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/kankyo/gomi\\_recy/haikibutsu\\_kihon3/index.html](http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/kankyo/gomi_recy/haikibutsu_kihon3/index.html))

右の二次元コードからもアクセスできます。



### 第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画【概要版】

平成 28 年 3 月発行

編集／堺市環境局 環境事業部 環境事業管理課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町 3 番 1 号

電話 (072)228-7478 FAX (072)229-4454

メール [kankan@city.sakai.lg.jp](mailto:kankan@city.sakai.lg.jp)



環境マスコットキャラクター **ムーやん**

▶ごみが無くなる→「無がええやん」でムーやんです。  
堺市環境啓発担当職員として、ツイッターでの  
情報発信などに取り組んでいます。  
アカウント：@sakai\_Muyan

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。